

幻のアサクサノリ養殖 復活への挑戦

➤ アサクサノリが幻のノリと呼ばれるわけ・・・

おにぎり、お寿司、お茶漬け・・・。我々日本人の食文化には欠かせないノリ。

ノリ養殖は、江戸時代から始まったと言われていました。現在、私たちが食べているノリは、スサビノリ (*Pyropia yezoensis*)という紅藻類アマノリ属の海藻ですが、実は昭和30年頃までは同じアマノリ属のアサクサノリ (*Pyropia tenera*)であったことがわかっています。現在、全国のノリ漁場で養殖されているノリの99%以上がスサビノリとなっています。味、香りが良く希少価値の高いアサクサノリは、非常に高値で取引されています。

➤ アサクサノリが衰退したわけ・・・



昭和20年代 三重県村松海岸で養殖されているアサクサノリ(写真提供 海の博物館)

アサクサノリ

特徴: 生長が遅い。
色落ちしやすい。 ■■■➡
病気に弱い。

衰退

スサビノリ

特徴: 生長が早い。
色が黒い。 ➡
病気に強い。

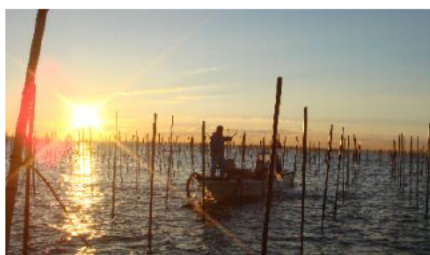
主力

➤ アサクサノリの採集と選抜育種

- ・アサクサノリは、環境省レッドリストで絶滅危惧 I 類に指定されています。
- ・三重県は、全国でも希少なアサクサノリ自生地として知られています。
- ・鈴鹿水産研究室では、野生のアサクサノリを採集し、選抜育種によって生長性に優れた養殖株を作出しました。



選抜育種で作出したアサクサノリ養殖株



アサクサノリの摘み取り風景(桑名地区)



アサクサノリの製品

➤ アサクサノリ養殖の挑戦

- ・当研究室が作出した養殖株を用いて、平成25年度漁期より試験養殖を実施しています。
- ・平成29年度の入札会では、最高値16,500円で落札され高評価となりました。(※価格は、100枚単位)
- ・平成29年度全国青年・女性漁業者交流大会で三重県におけるアサクサノリ養殖に関する事例発表が農林水産大臣賞を受賞しました。
- ・今後も鈴鹿水産研究室は、アサクサノリの養殖技術の確立に向けた取り組みを進め、三重県のノリ養殖に貢献する技術開発に努めていきます。



三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

Mie Prefecture Fisheries Research Institute

〒510-0243 鈴鹿市白子1丁目6277-4

TEL (059)386-0163

FAX(059)386-5812